



新発田市立東中学校だより

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和5年2月17日
第17号
☎ 0254-22-3824
📠 0254-26-3543

ダイバーシティ

校長 森谷 優子



私は、30代の頃、文部科学省の派遣教員として南米チリの在外教育施設に、2年間勤務しました。中米、南米はブラジルを除くすべての国がスペイン語を母語としています。勤務先は、首都サンチアゴの日本人学校でしたので、仕事は日本語で大丈夫ですが、生活するにはスペイン語が必要です。赴任してからスペイン語を習いました。チリの様々な話はさておき、そこで、いろいろな友人ができました。仕事も、立場も、国籍も様々です。今日は、その中の友人の一人、Yさんの話をします。

Yさんは当時20代後半の女性です。お父さんは商社にお勤めだったそうで、彼女はお父さんの仕事で赴任したメキシコシティで生まれました。両親は日本人です。中高生の頃は、お父さんの転勤でチリに住んでいたそうです。妹は、アメリカの大学へ進みますが、彼女は、日本の大学へ進み、そのまま日本の大手メーカーへ就職しました。しかし、会社を辞め、単身でチリへやってきます。ちょうど私が赴任した時期と同じでした。彼女は生まれつき耳が聞こえません。しかし、話す人の唇を見て何を言っているのかを目で読み取り、日本語はもとより、スペイン語も英語も話すことができます。これには驚きました。彼女が会社を辞めてチリへ来た理由は、「日本で感じる息苦しさ」が原因でした。10代を海外で過ごした彼女は、日本が息苦しかったと言います。彼女が訴えたのは、自分の障がいに対し、周囲が「過剰であること」と「無関心であること」でした。また、自分と同じように障がいをもつ人同士でも、感覚の違いを感じて悲しくなることもあったと言います。会社を辞めて再就職できるのかという不安はあったようですが、チリへ来てよかったと言いました。何がそんなにいいのかと聞くと、「私は耳が聞こえません」と言うと、どこへ行ってもほとんどの人が、「あっ、そう」という反応だということです。彼女曰く、南米は自然に受け入れてくれる国だということでした。印象的だったのは、高校時代の話です。彼女は、通常のカリキュラムしかないサンチアゴのアメリカンスクールに進みますが、入学を許可された時、彼女のお母さんは先生方に「うちの子は耳が聞こえないので、みなさんのご迷惑になります。申し訳ありません。」と謝ったそうです。すると校長先生が「あなたの考えは間違っている。申し訳ないことなど一つもない。例えば、Yのために毎時間ノートをとる生徒がいたとしても、お母さんやYが負い目を感じたり、卑屈になったりする必要などない。**私たちは対等なのです。**」と言われ、お母さんは、涙があふれて止まらなかったと言います。土壌にインカの教えがあるからなののでしょうか。とにかく、困った時には自然に寄り添い、どこまでも対等な姿勢が当たり前だったと言います。

彼女は日本での大学受験に際し、耳が聞こえないことを理由に多くの大学で入学試験を断られました。しかし、当時、南米では、一例をあげるとLGBTの大きなデモに遭遇することは普通でした。日本でLGBTが認知されるようになったのはつい最近です。

私は、東中が、多様な人を自然に受け入れるダイバーシティであってほしいと願っています。

東中の人権教育・同和教育

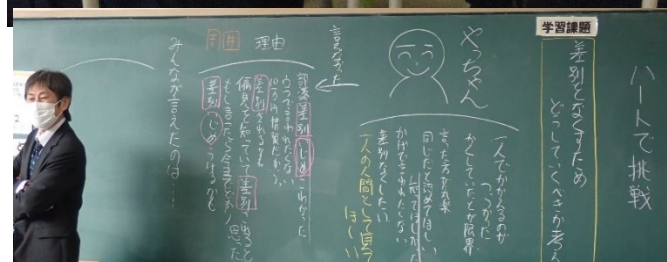
当校では、「生きるIV」を活用した同和教育の授業に取り組んでおり、年に5回、実施しています。

生徒は、資料を読んで、**自分ならどうするのかを考え、仲間に自分の意見を伝え、仲間の意見を聴く過程で、学びを深めていきます。**

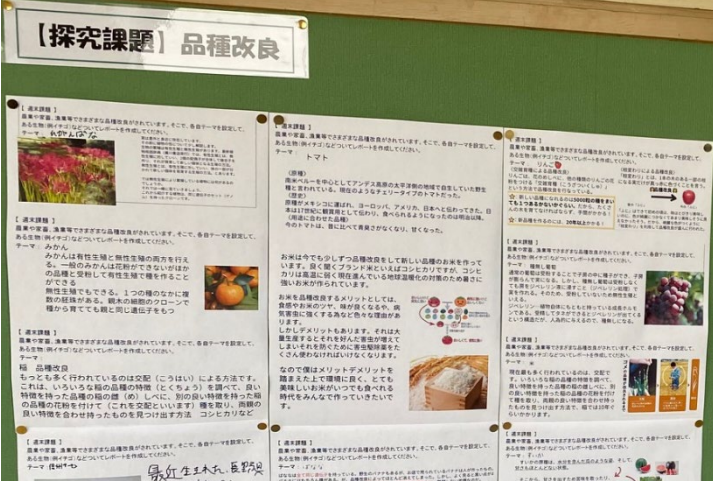
教職員も同和教育主任の本間誠先生のリーダーシップで、授業の構想を練ったり、授業の生徒の様子をもとに、意見交換をしたりしています。

わたしもいくつかの授業を参観させていただきましたが、印象に残っているのは、3年生で、**自分自身のことを語っている生徒**がいたことです。自分のちょっと辛いこと、あまり言いたくない…けれど聞いてもらいたいこと…、そういうことは、誰にでもあるのではないのでしょうか。**その生徒が安心して話すことができたのは、きっと、その班やクラスが、自分を受け止めてくれるから**なのだろうと感じました。

表面的な話だけでなく、きちんと自分の大切なことを伝えられる班（クラス）とそれを受け止めてくれる班（クラス）はというのは、居心地がいいだろうと感じました。そのような関係づくり、環境づくりをすべてのクラスで、班で、実現し、今よりももっと、居心地のよい学校生活にしていけたらいいと思います。



東中の学びは



臨時休業、オンライン授業 1/25(水)



貢献する保健給食委員会

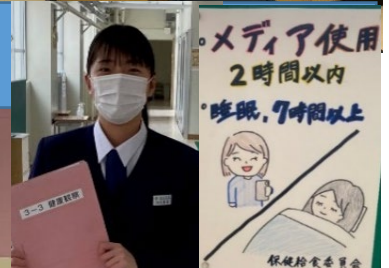
いつもおいしい給食を ありがとうございます

永倉先生へ！
いつもバランスの良い
美味しい給食を
作ってくださり、
ありがとうございます。
なかなか家では食べる
機会がないあげパンや、
さわにわんが好きです。
毎日、「今日はどんな
給食が出るかな〜♪」
と楽しみにしています。
東中保健給食委員会

五十鈴野共同調理場の
調理員さんへ
暑い日も 寒い日も
心こめておいしい給食
を作ってください。ありが
とうございます。
今は温かいお汁で、午後
もやわになります。これからも
よろしくお願いします。
東中保健給食委員会

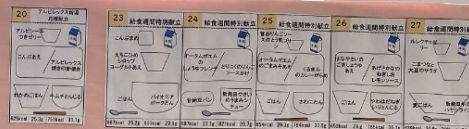
服部さんへ
(西区膳屋さん)
暑い時も 寒い時も 毎日
運んでくださりありが
とうございます。階段の登り
下りが大変かと思いますが
これからよろ
しくお願いします。
東中保健給食委員会

配送の方へ
雪道で大変な時でも
時間通りに届けてくだ
さり、ありがとうございます。
毎日、温かい給食が食
べられて、幸せです。
これから古
よりしくお願い
します。
東中保健給食委員会

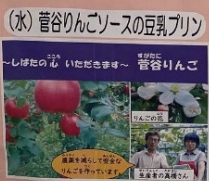
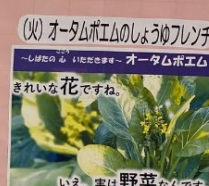


給食週間

1/20 (金) アルビレックス新潟の援賛
1/23 (月) ~ 1/27 (金)



地場産物 がいっぱい
しばたの心いただきます



健康観察、コロナ対策、フッ化物洗口の準備、給食週間の取組、心身の健康など、さまざまな活動に意欲的に取り組んでいます。

令和4年度 東中学校 視力の状況

